

# ハイパーリンクの活用法

石田 等、立原 敬一、大久保英一、諏訪邦夫

## Utilization of the Hyperlink

Hitoshi Ishida, Keiichi Tachihara, Eiichi Ohkubo, Kunio Suwa

### 要旨

近年、パワーポイント (PowerPoint) を使った講義が増えている。しかし、パワーポイントを使う講義は、情報量が多すぎる嫌いがある。また、文字だけならともかく図表や写真まで映し出されるため資料が膨大となってしまう。そこで、ハイパーリンク (hyperlink) を使用すると指定範囲のテキストまたは画像を他のページなどへリンクさせ、その部分を選択先へ移動できる。授業において効率的に画像や図表を示すことは、講義の理解に繋がると思われる。しかし、このハイパーリンクはインターネット (Internet) 上での活用が盛んであるが、スタンドアローン (stand-alone) での活用報告は僅かである。今回我々はスタンドアローンでの活用方法を紹介する。

### Abstract

Recently, the lectures using PowerPoint software are increasing. However, the lecture using this software tends to hold too much information. In addition, a document becomes so large that character information may be shown together with figures and photographs. We may use a technique of hyperlink, then text or images may be linked to other pages in the specified range to be selected to move up when necessary. By doing so, we may achieve better understanding of the lecture. Use of hyperlink is common on the Internet, yet it is scarcely used on stand-alone personal computers. In this report, we attempt to introduce a practical use of this technique on stand-alone PC's.

### はじめに

ハイパーリンク (hyperlink) の理解を得るために、Web サイト (ホームページ) を構成する HTML (Hypertext Markup Language)、その基となるハイパーテキスト (hypertext) を述べる。ハイパーテキストは、コンピュータを利用した文書 (テキスト) システムの一つである。ハイパーテキストは複数のテキストを相互に結び付ける仕組みのことである。Hyper は、「超える」という意味であり、ここでテキスト間を結びつけことをハイパーリンクと言う。

ハイパーテキストは他のテキストの位置情報を埋めこみ、複数の文書を相互に連結できる仕組みのことである。ハイパーテキストという語は広く使われている。しかし、実際にはハイパーメディアと呼んだほうが適切な場合も多く見受けられるが、本稿ではハイパーテキストに統一した。尚、本稿図表 (使用例) には、OS (Operating System) に、Windows 7 Professional、アプリケーションソフトは、Microsoft PowerPoint 2007 で作成したものを掲載した。

### ハイパーリンクとは

ハイパーリンクは、ファイル同士をつなぐこと、行為、手順などを意味する。ハイパーテキストをつくる行為でもある。あるファイル (文書・文字列・画像) から別のファイル (文書・画像・圧縮ファイル)、あるいは同じ文書の別の場所 (文字列・画像など) を接続する。また、URL・アーカイブ・電子メール アドレス・ファイル・プログラム等をリンク先にすることもできる。これは、参照したいファイル名を画面に埋め込み、一瞬でそれを参照する手法である。また、ハイパーテキストはハイパーリンクを利用して出来上がっている構造体であり一般に複数のテキストファイルあるいは文書ファイルが、一体として使えるようになっている。

### ハイパーリンクの設定方法

1. 該当項目 (文字列) をドラッグし、選択する。
2. 「メニューバー」より「挿入」を選び「ハイパーリンク」を選択

3. 「ハイパーリンクの挿入画面」より「検索先」を指定

4. URL で設定する場合は、「ハイパーリンクの挿入画面」よりアドレス (E) URL を書き込む

5. 検索先よりリンク先を選択

と至って簡単に設定は終了する。(図1)

設定後は該当項目の下にアンダーラインが引かれ文字の色が変わる。ここで該当項目(アンダーラインの引かれた項目)にマウスマウスカーソルを置き、ctrl キーを押しながら左クリックすると設定されたリンク先が表示される。また、設定の削除についてはハイパーリンクの設定された文字のアンダー

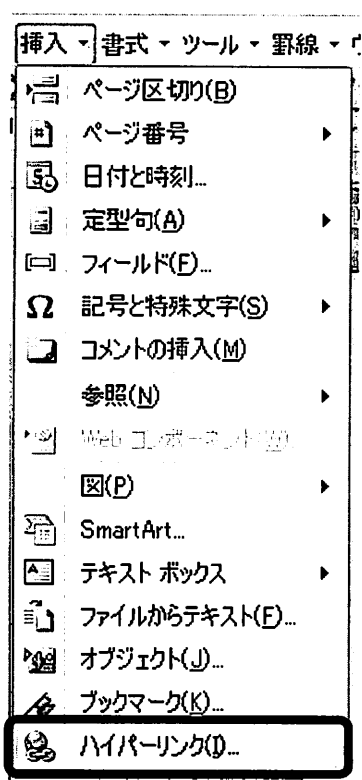


図1 ハイパーリンクの設定

ライン末で back space を押せば解除が成立する。

この他、ハイパーリンク先にインターネットのサイトを利用する場合は、使用するコンピュータが無線 LAN などインターネットに接続されていることが必要である。

本学の例をとれば、教室内で無線 LAN の使用可能な場合は、上記4で示した通り URL 設定で任意のリンク先が表示可能となる。(図2)

## 考察

ハイパーリンクはインターネット上では頻繁に使用されるツールである。ウキペディア (Wikipedia) などアンダーラインが引かれた色の違う文字はよく見られる。これがハイパーリンクである。この文字にマウスマウスカーソルを置き、右クリックをすれば指定されたリンク先に移動し必要な情報が得られる。このような操作はインターネット上では日常的に行われている。

ここで、コンピュータを授業などで使用する場合は、スタンドアロンシステムと言われるコンピュータ単体での使用が主である。スタンドアロンシステムとは、コンピュータを他のコンピュータと接続せずに利用する形態である。

従来パソコンはスタンドアロンシステムで使用するのが普通であったが、近年は無線 LAN が普及し、家庭でもインターネットやパソコン通信に接続することが当たり前になってきている。このため現在ではスタンドアロンシステムでのコンピュータ使用は減少している。しかし、授業などで頻繁に使用されるスタンドアロンシステムでのハイパーリンクの使用は可能である。リンク先ファイルがコンピュータ内にあれば、スタンドアロンシステムもリンクを行える。

スタンドアロンシステムで使用する利点は、

1. 回線速度に依存しないリンク可能
  2. セキュリティ上のリスク (ウイルス・データ流失) が少ない
  3. システム内のためタイムラグのないリンクが可能
  4. どこでもハイパーリンクが利用可能
- など使用する度に検索することなく自身のコンピュータ内の情報が自在に得られる。

また、LAN 接続が可能な環境下では新たに下記の利点が生まれる。

1. データが端末に無い環境でもリンク可能
2. データがシステム外にあるため端末上のデータ容量が少なく済む。
3. 端末紛失時におけるデータ流出などのセキュリティが保てる。

欠点としては、LAN 接続中は安易にハイパーリンクをクリックするとウイルスがインストールされたり大切なファイルが削除されたり Windows が起動しなくなることも在り得る。また、ファイル容量が大きい場合や接続回線・サーバーの状態で異常に時間が掛かり一時的にリンク先に繋がらない可能性もあるので時間の浪費となる。

## 結語

ハイパーリンクを用いた授業資料は、多くの情報を必要に応じて手早く使用できる。

ハイパーリンクは授業を進める上で有用なツールであ

る。

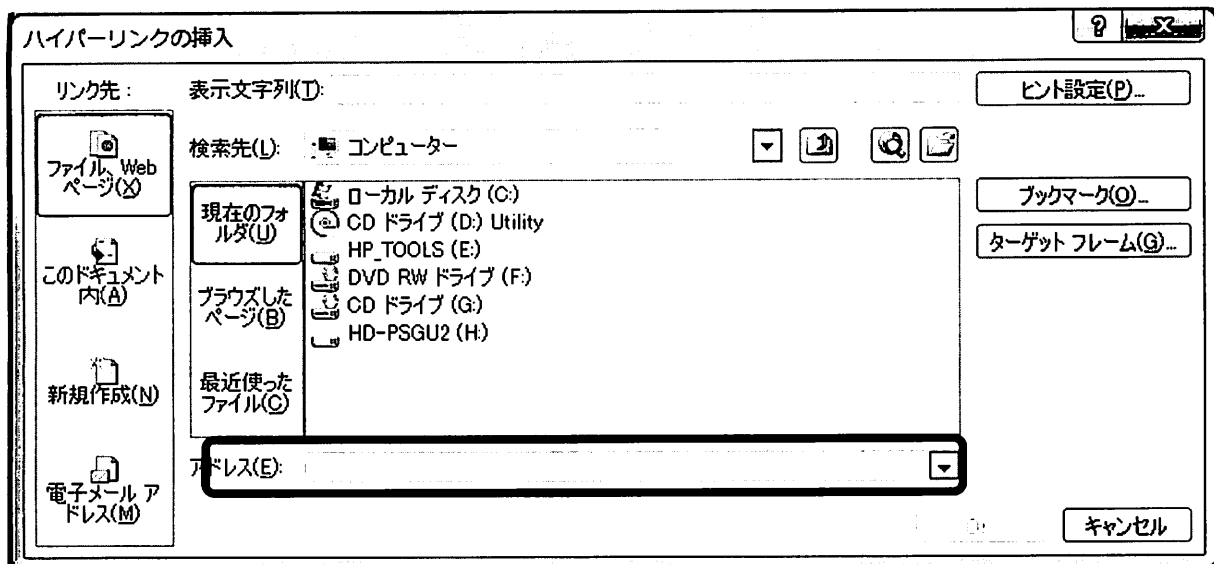


図2 ハイパーリンクのアドレス設定

### 参考文献

諏訪邦夫：文献検索生理 パソコンとインターネット  
をどう利用するか、克誠堂出版、東京、2002

諏訪邦夫：医科学者のための 知的活動の技法、メディ  
カル・サイエンス・インターナショナル、東京、2008